

NIESSING×名和晃平「CELL / FORCE」 ー摩登ジュエリーと彫刻の新たなる融合

2015年10月22日(木)～11月23日(月・祝) NIESSING TOKYOにて



ジュエリーにおける「摩登」を体現しているブランド、ニーシング。

ハンドクラフトと最新技術の融合により生み出されるその革新的なジュエリーは、その抽象性と可変性によって人々の想像力を掻き立てます。

そのような「想像の素材」としてのジュエリーを託す特別な相手として、ニーシングでは彫刻家の名和晃平氏に、ジュエリーをモチーフとした展示を依頼しました。名和氏が考案した作品とジュエリーを、この秋、ニーシング東京で展示いたします。

本展では、「CELL / FORCE」をテーマに、物質感のある多様な造形を舞台にジュエリーが展示されます。また、名和氏とニーシングがタッグを組み制作したリングを特別展示いたします。

素材に対する独自のアプローチで新たな表現を探り続ける名和氏とニーシングとのコラボレーションにぜひご期待ください。

展覧会タイトル：NIESSING×名和晃平「CELL / FORCE」

出展作家：名和晃平

会期：2015年10月22日(木)ー11月23日(月・祝)

会場：ニーシング東京 港区南青山5-9-10 サンク青山1F

主催：株式会社 柏圭

企画：岡田栄造 (S&O DESIGN 株式会社)

PR：小池美紀 (HOW INC.)

プレスプレビュー：10月21日(水)11:00ー17:00

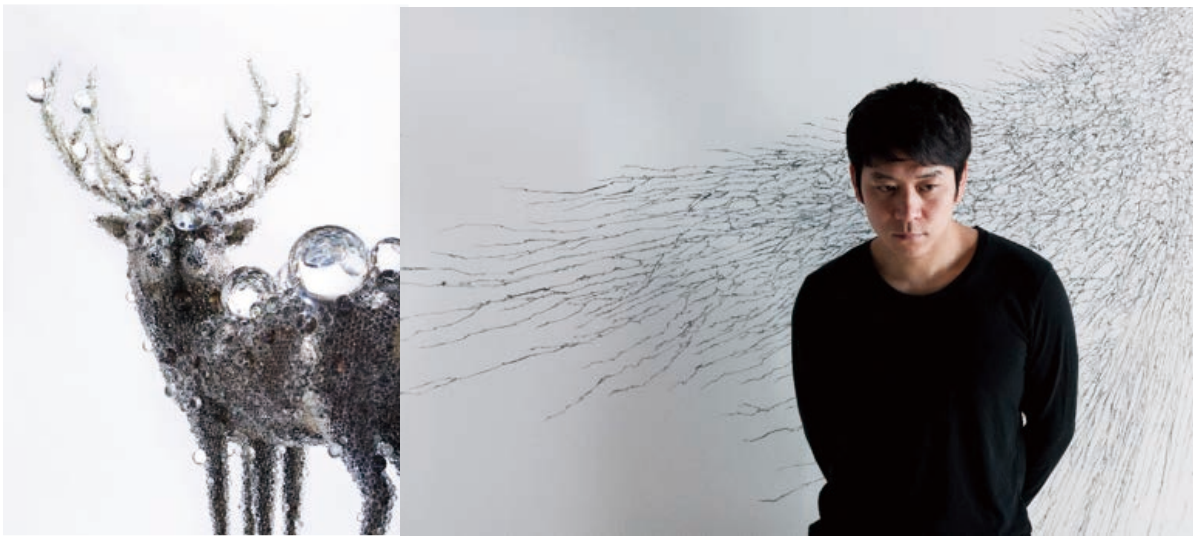
レセプションパーティー17:00ー20:00

NIESSING は、2013年より秋のデザインイベントに合わせ、アーティストとのコラボレーションを行っており、今年で3回目を迎えます。

■2013年 “Graffiti” Rings by Hideyuki Nakayama (建築家 中山英之)

■2014年 “FAMILY OF NIESSING” (写真家・濱田英明)

NIESSING



PixCell-Double Deer#6
2012

mixed media

Courtesy of ARARIO GALLERY and
SCAI THE BATHHOUSE

Photo : Nobutada OMOTE | SANDWICH

Photo : Nobutada OMOTE | SANDWICH

名和晃平 (なわこうへい) :

1975年大阪府生まれ。彫刻家、京都造形芸術大学大学院教授。2003年京都市立芸術大学大学院美術研究科博士課程(後期)彫刻専攻修了。

2011年、東京都現代美術館で個展「シンセシス」開催。その後も2013年の瀬戸内国際芸術祭、あいちトリエンナーレなど、数々の国際展にてサイトスペシフィックな彫刻作品を発表する。同年、韓国チヨナン市に大規模な屋外彫刻“Manifold”を設置。独自の「Cell」という概念を機軸にビーズ、プリズム、発泡ポリウレタン、シリコンオイルなど様々な素材とテクノロジーを駆使し、彫刻の新たな可能性を拓いている。現在、自身がディレクターを務めるクリエイティブ・プラットフォーム

「SANDWICH」において、アート、建築、デザインなど多岐に渡る活動を行う。2015年9月には自身初となるイギリスでの個展「FORCE」をPACE LONDONにて開催。

NIESSING (ニーシング)

1873年ドイツで創業したモダンジュエラー・ニーシング。造形学校「バウハウス」の流れを汲む作風は究極のシンプルを追求。地金の張力だけでダイヤモンドを支える代表作品「ザ・ニーシングリング」は、1979年に開発され特許を取得。無駄な装飾を一切削ぎ落とした独自のスタイル、卓越したクオリティと職人的技術により生み出されるジュエリーは、数々のデザイン賞を受賞しています。2001年には、芸術品としてドイツで法的に認定され盗作・贋作から保護されており、現在でも世界の美術館で、ザ・ニーシングリングが収蔵されています。

<http://niessing.jp>



NIESSING | ニーシングのご案内

宙に浮いたダイヤモンド

究極のシンプルを追求する、ドイツのモダンジュエラーNIESSING〈ニーシング〉



»Philosophy for Design

ニーシングのジュエリーはひと目でわかります。ドイツの造形学校「バウハウス」の流れを汲む作風は究極のシンプルを追求。どの作品もシンプルなアイデアを表現しており、それが研ぎ澄まされた美しさの源になっています。それぞれのジュエリーが語りかける、それぞれのストーリー。身につける人は、それにより自己表現することができるのです。

ニーシングはこの「雄弁な美」、コミュニケーション性こそが時代の求めるデザインと考えています。そしてニーシングのジュエリーは、140年の歴史の中で培われたクラフトマンシップ、ジュエリー職人たちの熟練した技術によって支えられています。

»Hitsotry

1873年ドイツ西部、国境近くの美しい中世の都市、フレーデンにヘルマン・ニーシングが創設したジュエリーのワークショップからニーシングの歴史は始まりました。創業141年。ニーシング本社とファクトリー、隣り合う「ホワイトハウス」と呼ばれるデザイン室は三位一体となり、ジュエリーを次々に生みだしています。長い歴史の中で、ニーシングが伝統的ジュエラーからコンテンポラリージュエラーに転換したのは1970年代。1979年のThe Niessing Ringの完成を待ち、ニーシングは新世紀へ移行しました。四半世紀を経た現在もそのデザイン哲学は継承され、マイスター達の卓越した技術力に支えられながら、革新的ジュエリーを創作し続けています。

»The Niessing Ring

まるでダイヤモンドが浮遊しているかのようなデザイン。

宝石を留める爪がないため、あらゆる角度から光を集め、ダイヤモンド本来の美しさを最大限に引き出すことに成功した画期的なリング。

1979年に開発され、後に特許を取得した「ザ・ニーシングリング」誕生の背景には、ある一人の女性の存在がありました。創業者の孫娘、ウズラー・エクスナー（中央写真の女性）。文化や芸術に造詣が深く、既成概念にとらわれない自由な発想を持つ彼女は、ドイツの造形学校「バウハウス」の哲学に深く共感。リングに不可欠なアームと石の二つだけを残し、石を留める醜い爪をデザインから消失させることを考えました。要請を受けたデザイナー、ウォルター・ウィテック（右写真の男性）と職人達がウズラーの発想を形にできたのは、実に2年後のこと。「物事を純粋に、さらに明確に捉えるため、本当に必要なものだけを残す」バウハウスの理念を体現したジュエリーが完成しました。地金の張力のみで宝石を完璧に支える画期的な発明は、世界に大きな衝撃を与えたのです。

ダイヤモンドがあらゆる角度から光を集め、本来の美しさを最大限に発揮するこの独自のセッティング方法はニーシングが開発した背景が明確に分かるように「ニーシングセッティング」と呼ばれ、現在も見入る人を驚嘆させるデザインと人間工学に基づく素晴らしい着け心地でロングセラーを続けています。美術品としてもその価値を高め続ける「ザ・ニーシングリング」。ニーシング=モダンジュエリーの地位を揺るぎないものにしています。



- 1979年 ウォルター・ウィテックがニーシングリングを発明する
- 1993年 ライプツィヒ・グラシ博物館にコレクション展示される
- 1994年 国立工芸美術館（ノルウェー・オスロ）にコレクション展示される
- 1999年 ブッセ・ロングライフデザイン最優秀賞受賞
- 1999年 科学博物館（オーストリア・ウィーン）にコレクション展示される
- 2000年 芸術品として認められウォルター・ウィテックのオリジナル作品として著作権を得る
- 2003年 美術工芸博物館（ハンブルグ）にコレクション展示される

»Factory

ニーシングのほとんど全てのジュエリーは、ニーシング本社で制作されています。地金の精錬から最終工程の仕上げまで自社ファクトリー内で行う、世界でも数少ない機能を持ったファクトリーのひとつです。ひとつのジュエリーが完成するためには、熟練したスペシャリスト達の手から手へと渡る多くのプロセスが必要です。デザイナー達の自由な感性を形にするために、ジュエリー職人達は時として未開の技術領域にチャレンジすることも躊躇しません。ほとんどのジュエリー職人はニーシングに永年従事し、長い経験の中で培われたその専門的技術や知識を後輩へと受け継いでゆきます。こうして技術はより磨かれ、専門的知識はさらに高められてゆくのです。

≫Forging Process

ニーシングでは地金のバーを、何度もプレス機にかけて圧縮します。この圧縮により貴金属の密度を高め、強度のある地金を作り出します。この工程を鍛造と呼びます。こうして作られたリングは耐久性に優れ、ゆがみにくく、永年のご使用にふさわしいものになります。鍛造製法は量産には向きません。ニーシングのリングは、お客様のオーダーを受けてから、1つ1つ手作りで製作されます。

≫Material, Color

ニーシングのジュエリーメーカーとしての地金に関する知識の豊富さは他に類をみないほどで、製品に使用されるほとんどすべての素材を自社ファクトリーで製造しています。専属の職人が生み出すこだわりの技法がジュエリーに彩りを与えてくれます。



≫商品構成

ニーシングのジュエリーは代表作品「ザ・ニーシングリング」とシンプルで研ぎ澄まされたデザインの「ウェディングリング」、自由な発想から生まれる、ネックレスを中心とした「ジュエリーライン」とコンテンポラリーなデザインをリーズナブルな価格で楽しめる「スチールライン」から構成されています。



プレスに関するお問い合わせ

HOW INC info@how-pr.co.jp Tel:03-5414-6405,Fax:03-5414-6406

読者お問い合わせ先(クレジット記載)

ニーシング東京 住所：東京都港区南青山5-9-10 サンク青山1F TEL：03-3499-1868

<http://niessing.jp>